

陳 情 書

平成13年10月5日

中野区議会議長 斎藤 金造 殿
件名 区立保育園の民営化について

陳情代表 中野の保育を考える会
住所 中野区鷺宮2-17-4
氏名 篠崎 純子 印

趣旨

「野方北保育園の民営化に伴う移管時期を平成15年4月1日とする条例案」について、今定例会での取り扱いは、慎重に行っていただけますよう、お願い致します。
事業者選定を急がず、父母・住民の声を反映させる仕組みを早急に作っていただけますようお願い致します。

理由

行財政5カ年計画の「区立保育園の民営化」については、計画「素案」の段階より、父母会・父母有志などから、「保護者の納得いく情報提供と説明」「現行の区立保育園の水準を守る事」を求める、要望・陳情などが出されてきました。また、該当の野方北保育園を守る会からも「計画延期と全園保護者に対する説明会」の陳情が出されておりました。

こうした中、ようやく8月下旬、地域対象ではありますが「行財政5カ年計画と今後の保育行政についての説明会」が行われました。しかし、父母・住民の不安がつのる反応もあり、区側から「説明をするとしたら、全園の保護者に対して行う」旨のご発言がありました。これをふまえ、中野の保育を考える会は保育課宛に「全保育園保護者への説明会」を求めていたところです。

ところが、このような流れの中で、先日野方北保育園父母に対し、突然に「民営化の1年延期、事業者早期決定のために廃園条例を第3回定例会に提案する」との報告がなされました。

この思いもよらない展開に、多くの父母・住民が「保育行政への困惑と不安」を募らせています。
これまで私たち父母・住民は、「ともにつくろう中野の街を」「参加の区政」といった区の姿勢に信頼を寄せ、行財政5カ年計画の区立保育園の民営化にも、まずは区の計画について耳を傾けようとしてきました。これに対し、全園説明への回答もなく、該当園を守る会の陳情も議会で継続して取り扱われているさなか、「事業者早期決定のために廃園条例が提案される」というのは、時期尚早と考えます。

また、すでに野方北保育園の父母に対して、「事業者選定基準に関するご意見をお聞きする」機会が設けられておりますが、「区立保育園の民営化に関する事業者選定基準」といった保育行政の重大な事項についてのやりとりは、該当園父母だけでなく、広く父母・住民の声を反映させる仕組みの中ですすめるべきではないでしょうか。

こうした理由から、野方北保育園の廃園条例案の今定例会での取り扱いは慎重に行っていただき、事業者選定以前に、父母・住民の声を反映させる仕組みを早急に作っていただけますよう、お願い致します。

賛同者

氏名	住所